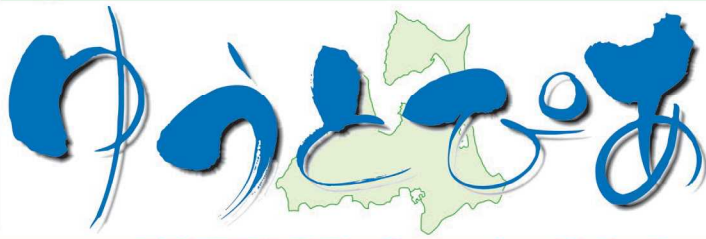




社是
介護の必要な人の上に立たず、
その心の下りて為すを第一。
社会の必要の外に在らず、
その中に在りて為すを第二。

地域と介護の情報コミュニケーション誌



2019年3回発行 Vol.64 4月号
FREE PAPER

〈発行所〉社会福祉法人 楽晴会
〈発行人〉齊藤 淳
〈企画編集〉楽晴会広報委員会

〒033-0041
青森県三沢市大町二丁目6-27
TEL.0176-53-3550 FAX.0176-53-2480
E-mail:wmaster@rakuseikai.or.jp
昭和58年創刊

アクセスしてみ!! <http://www.rakuseikai.or.jp>

さようなら平成! こんにちは令和!

～楽晴会の平成を振り返って～

① 在宅サービスの充実に向けて ～平成初期～



H 4. 3月	三沢介護支援センター創設
H 6. 4月	ホームヘルプサービス委託事業開始
H10. 12月	三沢訪問看護ステーション開設
H12. 11月	はるが丘デイサービスセンターはるが丘介護支援センターグループホームはるが丘創設
S 49. 2月	在宅機能回復訓練事業開始
S 54. 4月	短期入所保護事業開始
S 62. 7月	入浴援護訓練事業開始

平成よ、さようなら

社会福祉法人楽晴会は、昭和十二年に三沢市に創立され、晴ヶ丘老人ホーム(六戸町・養護老人ホーム五十床)を、翌四十三年に開設しスタートしました。

五年後には特別養護老人ホーム三沢老人ホーム五十床を、三沢市に開設し、以後昭和五十年代は、特養を百床として県内最大規模の百十床と増床、また晴ヶ丘も二十床増床し、当会の土台が形成されるだけでなく、六十年代には入浴援護事業や短期入所事業など、在宅サービスにも挑戦してきました。

昭和の措置費時代に基礎をなし、その後平成に及び、新しい時代の幕開けにより、以下のような挑戦をしてきた平成が終わりました。

② 施設の在り方を問い直した時期

H15. 6月 松園ケアラウンジ・スカイ(介護付有料老人ホーム) 松園デイサービス・スカイ 松園グループホーム・スカイ創設



小規模ではなく中規模施設のモデルとしての介護付有料の取り組み。

松園拠点

分館サテライト施設の提案

H17. 3月 三沢市との共同提案にて『サテライト型居住施設特区』が認定

H17. 4月 シルバーハウジング(L S A)生活援助員派遣事業委託業務開始

H18. 12月 共同提案・岡三沢コラボケアセンター 創設

H19. 1月 共同提案・岡三沢ぬくもりの家 栄町コラボケアセンター 創設

H19. 4月 共同提案・栄町ぬくもりの家 創設

H23. 5月 共同提案・松原コラボケアセンター 松原ぬくもりの家 創設

H24. 10月 シニアライフ大津(サービス付き高齢者向け住宅) 開設

※ H30. 6月 特定施設へ移行



④ 地域が見直される中 仙台・東京へ

H24. 7月 車返団地デイサービスセンター・スカイ(府中市)

H25. 12月 車返団地コラボケアセンター(府中市)

H30. 4月 世田谷希望丘ホーム(高齢者総合福祉施設) トラスト希望丘(都市型軽費老人ホーム)(世田谷区) 希望丘コラボケアセンター(世田谷区)

《関連会社》 株式会社 ソシエニード(平成17年～)

H17. 7月 介護付有料・デイ(仙台市 太白区)等

H20. 4月 デイ・グループホーム(仙台市 若林区)等



③ いよいよ障害福祉サービスを展開し共生サービスへ

H22. 4月 障害者就労トライアルセンター「ボイス」就労移行・相談支援事業開始

H24. 6月 大町児童デイサービスセンターひかり開設

H26. 4月 障害者地域活動支援センター

H26. 8月 インディペンデント I (障害者グループホーム)

H26. 9月 パラアートみさわ(障害者芸術支援・日中生活介護) cafe42(障害者継続支援A型)

H27. 6月 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり開設

H27. 12月 堀口児童デイサービスセンターひかり開設

H30. 6月 堀口児童デイサービスセンターひかり開設




児童デイの様子

児童デイの様子

⑤ 起業家の逝去

昭和・平成と時代は駆け抜け、新しい時代「令和」を迎えました。この時を迎え、当会の歩みをダイジェストで振り返りましたが、もっとも大きい出来事は、創業者である、齊藤甫人(ぼじん)の逝去です。

平成十六年十月に亡くなられるまで、我が楽晴会を、必死に守ってこられました。

三沢七夕などの緑日に、三沢保養センター(三沢温泉)の従業員と共に、じゅね餅を焼いた思い出がありますが、この先代の個人企業から、楽晴会法人の借金返しに、一番苦しかった頃に年間百万円単位で寄付された過去を思うと、本當の福祉事業の困難さを思います。

新しい時代に、原点回帰し、改めて福祉観を尋ねてみるつもりです。(齊藤)

つたえる地域 つながる地域

社福法人「楽晴会」

「エンジヨイ」追求の物語

三沢
高野や障子の「ターヤ」、琴丁家が手掛けた本格的な絵本
福祉事業を興す「楽晴会」(高野 寛)
理事を、法人の取り組みをまとめるパ
ンフレットを作った。

楽晴会が制作した絵本風のパンフレット
三沢市の社会福祉法人「楽晴会」(高野 寛)理事を、法人の取り組みをまとめるパンフレットを作った。

これまでのパンフレットは、法人の沿革や施設への紹介が主で、内容は、楽晴会理事長が「エンジヨイ」を追求する法人としてのパンフレットではないかと、楽晴会が制作した絵本風のパンフレットを作った。

楽晴会が制作した絵本風のパンフレット
三沢市の社会福祉法人「楽晴会」(高野 寛)理事を、法人の取り組みをまとめるパンフレットを作った。

楽晴会が制作した絵本風のパンフレット
三沢市の社会福祉法人「楽晴会」(高野 寛)理事を、法人の取り組みをまとめるパンフレットを作った。

楽晴会が制作した絵本風のパンフレット
三沢市の社会福祉法人「楽晴会」(高野 寛)理事を、法人の取り組みをまとめるパンフレットを作った。

楽晴会が制作した絵本風のパンフレット
三沢市の社会福祉法人「楽晴会」(高野 寛)理事を、法人の取り組みをまとめるパンフレットを作った。

逆の「楽しめる」パンフレットになったのではないだろうか。今回の仕事は、全員が興味や方向性が見事に合わさった、幸運な仕事であったと思います。出会いに感謝します。

宮川さんは書籍のデザインを数多く手掛けている実力派です。また、多くの絵本デザインを手がけています。僕自身も絵本を描いているものだから、皆との打ち合わせで『絵本風』のパンフレットで行こう！という方向へ流れたのも、必然といえば必然でした。

パンフレットといえば、堅い説明文やビジュアルで始まってしまうがちですが、宮川さんのデザインとアイデアは見事にこれを払拭しました。おそらく皆が一致したビジョンとは、メッセージが「一方通行」にならない事であったと思います。このようなパンフレットはヘタをすると、こちらから言いたい事を言いつて終わってしまいます。そういう堅いイメージとは

志学塾として三十年間、毎年「広告」を実践してきた。その場その場の成り行き任せの生徒募集だったが、三年目にデザイナー嶋脇雅司さんに出会った。彼は、八戸水産高校から自動車販売の仕事に就き、その後アティックのバイヤーに。そこで、ポップ広告を担当し、デザイナーに転職した経歴を持つ。ある日「次のチラシは、子どもが好む丸文字で」と注文を出したことがあった。彼は「本当に丸文字が好きでしょうか」と言って八種類の書体でタイトルを作り

教室にFAXしてきた。そのチラシを教室の黒板に貼り四十人の中学生に投票させた。すると見事に五人ずつに分かれた。驚いて結果を告げると、彼は一言「十人十色です」と。

十年以上前になるが、理事長が楽晴会のロゴを嶋脇さんをお願いしたいということで、志学塾でお引き合わせした。そして今の楽晴会のロゴが出来た。

実は、松本零士のお弟子さんのクレイン謙さんと会う時、ビビっていた。さらに一流の装丁家である宮川和夫さんと「広告」の打ち合わせなど、ビビりまくりだった。しかし、御二方との出会いが、楽晴会の広報活動には又とない大きなチャンスであり、とても嬉しかった。私は、嶋脇さんから教えてもらった「十人十色」という経験から、先ず楽晴会の「広告方針」を決めて臨んだ。

楽晴会の広告では、先ずターゲットは誰か？次にそのターゲットに期待するアクションは？と考へたい。このパンフレットは、先ず楽晴会の職員とその家族、次にお客様とのお家族、そして関連する業者さん、地域の方々、そしてこれから一緒に働いてくれるであろう未来の仲間をターゲットに期待するアクションは、楽晴会の電話を鳴らしてもらおう、または事業所に足を運んでもらおうという二点であると「広告方針」を説明したので「私達四人の好みは分かれますが、この方針を文言とすることで好き嫌いに偏ることなく成果を生み出すはずですよ」と伝えた。

懇親会では新鮮な肴と日本酒を頂きました。宮川さん、理事長と私と三人が同い年と分かり、さらに日本酒が進みました。酒量は確かクレインさんが一番でした(笑)。素敵な仕事が出来ました。素晴らしい出会いに心から感謝申し上げます。



広報担当理事
志学塾 塾長
畑山 篤

平成31年2月5日 デーリー東北掲載

完成後のロコミ♪
(一部抜粋)

・SNSでパンフレットのことを知りました。
・クレインさんのワールド全開！素敵なパンフレットですね♪
・ふと出くわしたら、とても幸せな気持ちになるだろうなと想像しました。
・息子がクレインさんのファンです。四歳です。
・楽晴会のパンフレットをどうしても見てみたくて、メッセージを書かせていただきました。
・今までどこにもなかったパンフレットですね！ワフワフしますね。

※パンフレットをご希望の方には、お一人様一部ですが無料で郵送致します。
恐れ入りますが、お届け先を法人事務所0176-53-3550まで、ご一報下さい。

楽晴会グループの施設は 全国3エリア

1 東京エリア(2拠点6事業所)
目黒区目黒 4事業所
中央区新富町 2事業所

2 青森エリア(12拠点36事業所)
1.法人本部拠点/2事業所
2.新1号拠点/4事業所
3.2号拠点/4事業所
4.新3号拠点/2事業所
5.新4号拠点/6事業所
6.本拠地拠点/2事業所
7.新5号拠点/6事業所
8.新6号拠点/6事業所
9.新7号拠点/2事業所
10.新8号拠点/2事業所
11.新9号拠点/2事業所
12.本拠地拠点/1事業所

3 仙台エリア(9拠点14事業所)
宮城県仙台市青葉区 4事業所
1.仙台市台町 4事業所
2.仙台市小野原 3事業所
3.仙台市本町 2事業所
4.仙台市若松 2事業所
5.仙台市山崎 3事業所

法人事務所 0176-53-3550
東京本部 03-5316-5388
仙台本部 022-243-3880

町の人々に必要な人や物を運び出し、また次の町に向かって飛び立つ準備をします。

楽晴会

法人事務所 0176-53-3550
東京本部 03-5316-5388
仙台本部 022-243-3880

(受付時間 月20時～17時 土・日・祝日休)

あなたの力を楽晴会へ。いっしょに働く仲間を求めています。

私たちは求めている人材は、パート・要員の人です。コミュニケーションが難しい人と対話する仲間を求めています。ボランティア、ボランティアで関わってくださる方も歓迎です。

様々な人材を募集しています。
・有資格者はもちろん、異業種の経験者も歓迎いたします。
・新卒、未経験者も歓迎する方を求めています。
・また、インターンシップを通じて、人材育成も行っています。
・まずは、お気軽にお問い合わせください。

Help Wanted RAKUSEIKAI

平成30年度 楽晴会職員研究発表大会開催!

平成三十一年三月十二日(火)
ホテルグランヒルつたやにおいて、
弘前学院大学 社会福祉学部
学部長 高橋 和幸 様
株式会社マスタ実践経営
代表取締役 増田 成生 様
をご来賓にお迎えし、平成三十年
度 楽晴会職員研究発表の決勝戦
が開催されました。
厳正なる審査の結果、各賞につ
いては以下の通り決定致しました。

【最優秀賞】

緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり
「HAPPY DENTAL CARE
～自主的に行う歯磨き指導を
目指して～」

【優秀賞】

岡三沢ぬくもりの家
「笑顔の介護
～働きやすい職場環境作り～」



【増田賞】

堀口児童デイサービスセンターひかり
「作業環境を整備する
～ロス時間をなくする～」

【審査員長賞】

大町児童デイサービスセンターひかり
「ENJOY 手洗い
～ウィルス撃退 手洗い運動～」

【敢闘賞】

訪問入浴サービスステーション青空
「肌乾燥の改善を目指して」

【敢闘賞】

松原ぬくもりの家
「質と時間の関連性の検討
～新しい朝～」

【サプリーター優秀賞】

佐藤 恵
大町児童デイサービスセンターひかり
「サプリーター優秀賞」

【サプリーター優秀賞】

山本 由佳
緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり
「拠点MVP優秀賞」

【拠点MVP優秀賞】

浅見 真喜子
松原ぬくもりの家



【拠点MVP優秀賞】

川村 夏子
三沢ぬくもりの家
「ルーキー優秀賞」

【ルーキー優秀賞】

小笠原 純也
障害者就労トライアルセンターボイス
「アメーバ賞優秀賞」

【アメーバ賞優秀賞】

三沢老人ホーム
「アメーバ特別賞」
栄町ぬくもりの家

本選に先駆けて行われた、二月
八日・十四日・二十日の予選会に
は全十九チームが参加。
各チームの発表内容は
・認知症の事例発表
・職員の仕事満足度について
・児童デイでの取り組み
・栄養ケアマネジメント
など多岐にわたりました。

予選後に齊藤理事長・米内山常
務理事・山崎理事の三人の役員に
より決勝進出のチームが選定され
、理事長からは「惜しくも決勝進出
を逃したチームを含め、全体的に
とても良い内容だった」という感
想がありました。

平成30年度表彰受賞者

- 《役員表彰》 理事 円子 功 様
- 《ボランティア功労者厚生労働大臣表彰》
大三沢婦人会 中野 米子 様
- 《青森県ふれあい活動功労者県知事表彰》
田中 治子 様
- 《青森県福祉大会県知事表彰(勤続20年以上)》
シニアライフ大津 市川 文子
シニアライフ大津 松川 美恵子
- 《全国老人福祉施設協議会会長表彰「感謝」(勤続15年以上)》
はるが丘デイサービスセンター 平澤 由加里
晴ヶ丘老人ホーム 千葉 美千代
松園ケアラウンジ・スカイ 五日市 誠
松園グループホーム・スカイ 川口 順子
※上記の方々、青森県老人福祉大会に於いても「功労表彰」を受賞しております。
- 《三沢市民福祉大会表彰(勤続10年以上)》
三沢老人ホーム 川村 夏子
晴ヶ丘老人ホーム 月館 健司
晴ヶ丘老人ホーム 米内 由利子
はるが丘デイサービスセンター 山本 久美子
松園ケアラウンジ・スカイ 小久保 久美子
松園グループホーム・スカイ 小田 幸子
ホームヘルパーステーション青空 須藤 律子
- 《三沢市優良従業員表彰》
グループホームはるが丘 小比類 巻光子
三沢介護支援センター 津島 恵美子
シニアライフ大津 乙部 あや子
介護タクシー 蛭名 謙一
晴ヶ丘老人ホーム 内藤 孝
障害者トライアルセンターボイス 須藤 芳紀

2019年楽晴会カレンダー完成!



子どもたちの作品が
素敵なカレンダーに
なりました♪

社会福祉法人楽晴会では、障害児・者
の芸術(パルアート)を支援しておりま
す。
今年の楽晴会のカレンダーは、当会が
顧問契約をさせて頂いており、東
信昭 画伯(アトリエのぶ絵画教室主宰)
のコンサルテーションにより活動してい
る子供たちの作品です。
皆様の温かな御支援と応援により、今
後の活動を見守って頂ければ幸いです。

編集後記

お疲れ様でした!!
(齊藤)
◆平成最後の「ゆうとぴあ」も
無事に発行することが出来まし
た。
◆ありがとうございます。



(皆)